

2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE
 コード番号 3047 URL <https://www.truck-one.com>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利

TEL 0833-44-1100

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	5,177	20.9	115	118.7	127	110.7	70	76.2
2021年12月期第3四半期	4,282	26.6	52	58.1	60	50.3	40	88.5

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 75百万円 (78.8%) 2021年12月期第3四半期 41百万円 (115.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	29.53	
2021年12月期第3四半期	16.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	5,317	817	15.4	340.67
2021年12月期	4,712	754	16.0	314.39

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 817百万円 2021年12月期 754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		2.50		2.50	5.00
2022年12月期		2.50			
2022年12月期(予想)				4.00	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年12月期における1株当たり期末配当金については、2円50銭から4円00銭に変更しております。詳細につきましては、本日(2022年11月14日)公表いたしました「2022年12月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	6.7	130	51.7	140	41.9	80	15.4	33.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月14日)公表いたしました「2022年12月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	2,552,000 株	2021年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	153,100 株	2021年12月期	153,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	2,398,900 株	2021年12月期3Q	2,398,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等により、持ち直しの動きが見られているものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰や、日米の金利差拡大を背景とした約30年ぶりとなる急激な円安進行による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、半導体不足の影響による、新車の納期遅れ等が続いており、中古車両の需要が高まっていることから、国内での販売が堅調に推移し、増収増益となりました。運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、原油価格の高騰の影響等を受けたものの、取引先からの受注が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績としては、売上高5,177,224千円（前年同期比20.9%増）、営業利益115,766千円（前年同期比118.7%増）、経常利益127,313千円（前年同期比110.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益70,832千円（前年同期比76.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

① 商用車関連事業

半導体不足の影響による、新車の納期遅れが続いており、中古車両の需要が高まっていることから、国内での販売が堅調に推移し、商用車関連事業の売上高は4,567,383千円（前年同期比23.4%増）、セグメント利益は104,839千円（前年同期比121.5%増）となりました。

② 運送関連事業

取引先からの受注が好調に推移したことにより、売上高は609,841千円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は10,874千円（前年同期比104.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は5,317,501千円となり、前連結会計年度末に比べ604,689千円の増加となりました。このうち流動資産は429,402千円増加して3,312,088千円となりました。主な要因は、商品及び製品が581,749千円、受取手形及び売掛金が96,106千円増加し、現金及び預金が295,125千円減少したことによるものです。また固定資産は175,287千円増加して2,005,412千円となりました。

(負債の状況)

負債合計は4,500,278千円となり、前連結会計年度末に比べ541,662千円の増加となりました。このうち流動負債は543,781千円増加して3,484,717千円となりました。主な要因は、短期借入金400,000千円、支払手形及び買掛金が205,273千円増加したことによるものです。また固定負債は2,119千円減少して1,015,560千円となりました。主な要因はリース債務が11,979千円増加し、長期借入金11,964千円、退職給付に係る負債が2,027千円減少したことによるものです。

(純資産の状況)

純資産合計は817,222千円となり、前連結会計年度末に比べ63,027千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が58,838千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想に関しましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2022年12月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570,631	275,506
受取手形及び売掛金	280,028	376,134
商品及び製品	1,963,872	2,545,621
原材料及び貯蔵品	9,170	9,488
その他	60,431	106,675
貸倒引当金	△1,448	△1,337
流動資産合計	2,882,686	3,312,088
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	267,232	326,224
土地	961,744	966,544
その他(純額)	440,925	547,804
有形固定資産合計	1,669,902	1,840,573
無形固定資産		
のれん	47,927	43,819
その他	3,758	2,770
無形固定資産合計	51,686	46,589
投資その他の資産		
投資有価証券	28,542	34,902
敷金及び保証金	23,196	23,177
繰延税金資産	20,462	24,843
その他	36,336	35,326
投資その他の資産合計	108,537	118,249
固定資産合計	1,830,125	2,005,412
資産合計	4,712,811	5,317,501
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	956,411	1,161,684
短期借入金	1,600,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,688	12,412
リース債務	55,921	48,876
未払金	196,506	140,110
未払法人税等	21,291	46,786
賞与引当金	1,043	15,422
その他	107,073	59,425
流動負債合計	2,940,936	3,484,717
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	603,952	591,988
リース債務	93,759	105,738
繰延税金負債	28,905	28,797
退職給付に係る負債	40,763	38,736
その他	300	300
固定負債合計	1,017,680	1,015,560
負債合計	3,958,616	4,500,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	627,808	686,647
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	756,008	814,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,813	2,376
その他の包括利益累計額合計	△1,813	2,376
純資産合計	754,195	817,222
負債純資産合計	4,712,811	5,317,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,282,440	5,177,224
売上原価	3,770,013	4,578,849
売上総利益	512,426	598,374
販売費及び一般管理費	459,492	482,608
営業利益	52,934	115,766
営業外収益		
受取利息	702	22
受取配当金	768	882
受取保険金	2,539	1,386
保険解約返戻金	578	541
補助金収入	4,696	6,318
その他	6,904	11,012
営業外収益合計	16,190	20,162
営業外費用		
支払利息	8,248	7,570
その他	439	1,044
営業外費用合計	8,687	8,615
経常利益	60,436	127,313
税金等調整前四半期純利益	60,436	127,313
法人税、住民税及び事業税	25,412	63,139
法人税等調整額	△5,176	△6,658
法人税等合計	20,235	56,480
四半期純利益	40,200	70,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,200	70,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	40,200	70,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,748	4,189
その他の包括利益合計	1,748	4,189
四半期包括利益	41,949	75,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,949	75,022
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いによっておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用による損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、時価算定会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車関連 事業	運送関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,701,840	580,599	4,282,440	-	4,282,440
セグメント間の内部売上高又は振替高	137,479	36,892	174,372	△174,372	-
計	3,839,320	617,492	4,456,812	△174,372	4,282,440
セグメント利益	47,324	5,309	52,633	300	52,934

(注) 1 セグメント利益の調整額300千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商用車関連 事業	運送関連 事業	計		
売上高					
日本	4,080,641	609,841	4,690,482	-	4,690,482
東南アジア	486,741	-	486,741	-	486,741
顧客との契約から生じる収益	4,567,383	609,841	5,177,224	-	5,177,224
外部顧客への売上高	4,567,383	609,841	5,177,224	-	5,177,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	146,890	35,646	182,536	△182,536	-
計	4,714,273	645,487	5,359,761	△182,536	5,177,224
セグメント利益	104,839	10,874	115,713	52	115,766

(注) 1 セグメント利益の調整額52千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。